

お礼の言葉

残暑もようやくおさまり、爽やかな風が渡る今日この頃。

今日という良き日にこのような式典を設けて下さった諸先生方、関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。私の同級生と比べると1年半遅い卒業となりましたが、今、卒業を迎えられたことをとても嬉しく思います。私は2年前に、半年ぐらい入院を繰り返しました。家族にはとても心配をかけたと思います。病気になる前は、将来は船の機関士になるために毎日勉強を頑張っていました。しかし、心のバランスを崩してしまって船に乗る仕事につけないと分かった時は、ひどく落ち込んだことを覚えています。それから、学科変更したものの、2ヶ月ぐらいで体調を崩してしまい学校に通うことが出来なくなりました。何もやる気が起きない、病気のせいにして前に進めずにいました。でも、心の中では「このままではいけない」と焦りを感じていました。そんな時に、聖光高等学校の通信制というひとつの道を見つけました。最初は不安でした。また体調を崩してしまうかもしれないと、マイナスなことばかり考えていました。そんな私に母はいつも笑顔で「病気になっても自分は自分でしょ。」と、病気をひとつの個性と考えて支えてくれました。通信制に通い始めて、最初は友達がなかなか出来なくて、一人でいることもありました。しかし、体育の時間に声をかけてくれた友達がいて、それからは友達にも恵まれて楽しく週一回のスクーリングにも通うことが出来ました。時には、週に5回のアルバイトと学校の両立をするのが大変だなと感じることもありました。レポート作成で分からないところがあったら何回も先生方に質問に行き、先生方はその度に優しく教えてくださいました。通信制での思い出は第二の青春を貰えたような気がして嬉しかったです。人より遠回りばかりしてきましたが、高校卒業という節目を迎えることが出来ました。今は、9月と10月の公務員採用試験に向けて、日々勉強の毎日です。

在校生の皆さん、たとえ人より多く時間がかかっても自分を信じて、諦めずに卒業に向かって頑張ってください。応援しています。最後になりましたが、聖光高校通信制の先生方、本当にありがとうございました。聖光高等学校のますますのご発展をお祈りして、お礼の言葉といたします。

令和4年9月10日 宮崎光輝